

2022年6月30日掲載 山形新聞

株主総会 (29日)

(売)は売上高、(経)は経常利益、(純)は税引き後の当期純利益。▲は増減の%は前期比

営業収益連結1068億円

デー・ティー・ホールディングス (山形市) 武藤幸規 社長 第10期 (2021.4.1~22.3.31)

売上高に相当する営業収益は連結で1068億6600万円(3.1%増) 13億3100万円(52.6%増) 105億5千万円(7.4倍)。配当は1株当たり10円を継続。

物流関連事業が主力の第一貨物や、自動車販売事業が主力の太平興業の共同持ち株会社。

第一貨物(同市、米田総一郎社長) 727億3500万円(3.0%増) 7億8100万円(7.2倍) 122億1千万円(11.6倍)。新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中で主力の特別積み合わせ事業は厳しい環境下だったが、新規顧客開拓などに注力し、営業収入を伸ばした。軽油価格が高騰したが、外部への業務委託を内製化する構造改革を進め、増益とした。旧東京支店の売却益があり、純利益が大きく伸びた。

太平興業(東京、平岡裕社長) 262億2200万円(1.4%減) 2億8千万円(10.1%減) 1億4900万円(25.7%減)。主力のトラック・バス分野は半導体不足などによ

るメーカーの減産で新車販売台数が減少した。

第一貨物の役員人事は、取締役は、いずれも非常勤の岸仁、吉田郁雄、工藤隆雄の各氏が辞任し、鍋谷雅彦名古屋支社長、松田俊広業務第一部長、泉川栄光営業第一部長、高宮睦哉業務第二部長を新任した。監査役(非常勤)は中桐俊氏が辞任し、中田信哉神奈川大名菅教授を新任した。

太平興業の監査役(非常勤)人事では中桐俊氏が辞任し、中田信哉神奈川大名菅教授を新任した。

任期満了に伴うデー・ティー・ホールディングスの取締役改選では非常勤の五十嵐淳雄氏が退任し、武藤社長をはじめ米田総一郎、平岡裕、小原雄大、藤井俊昭の各氏と社外の大沼八右衛門、角田マリの両氏を重任した。監査役は非常勤の中桐俊氏が辞任し、社外監査役に中田信哉神奈川大名菅教授を新任した。